

【中学生向け】

みんなで知ろう！ 若くてもなるがんと 今からできる予防のこと

中学時代の行動が未来の自分と家族を救う!?

産婦人科専門医・医学博士

みんパピ！みんなで知ろうHPVプロジェクト 代表

稲葉可奈子



アジェンダ



1. 自己紹介、アイスブレイク
2. 若くてもかかる子宮頸がん
3. 子宮頸がんなどの原因ウイルス「HPV」
4. がんを予防する2つの行動
5. 中学生の今だから打ちやすい定期予防接種
6. がんのない社会に向けて、みんなにできること
7. クイズ（今日のおさらい）
8. 質疑応答

自己紹介



産婦人科医として日々、
産婦人科診療・手術・お産に
携わっています

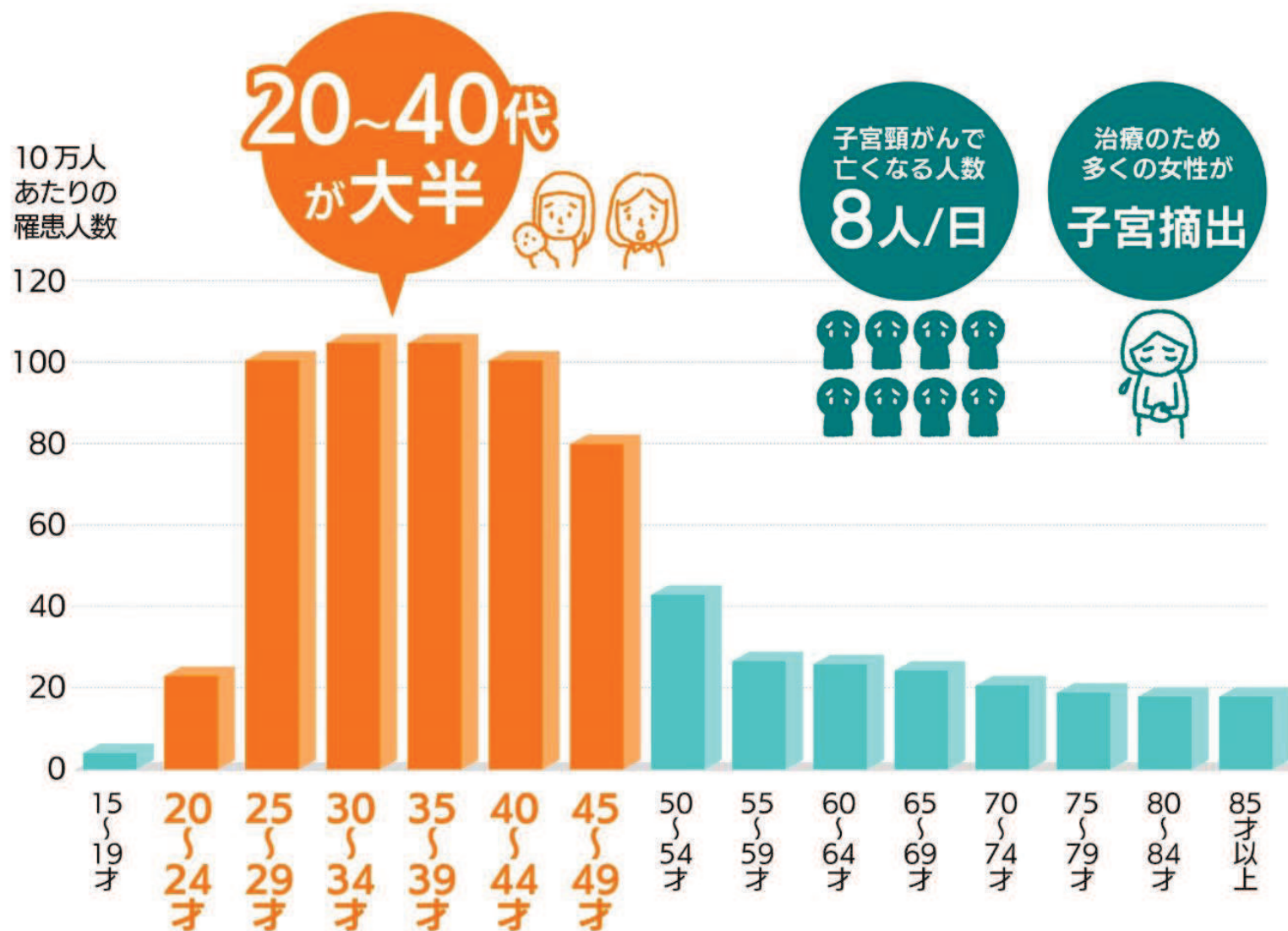


男子2人・女子2人の子育て中です

HPV関連疾患は
予防できることを
みんなに
知ってもらいたいです



子宮頸がんは20～40代に多い



子宮頸がんの原因はHPVというウイルス



子宮頸がんの95%以上がHPVが原因

女性の80%が一度はHPVに感染。主に性交渉で感染。

HPVは男性におこるがんの原因でもある



HPVは、男性におこる肛門がんや、男女どちらにも発生する咽頭がんなどの原因にもなっている

悪性腫瘍の種類	ワクチン接種をした人 (9529人)		ワクチン接種をしていない人 (17838人)	
	人年	数, 罹患率*	人年	数, 罹患率*
子宮頸がん	65,656	0, 罹患なし	124,245	8, 6.4
外陰がん	65,656	0, 罹患なし	124,245	1, 0.8
咽頭がん	65,656	0, 罹患なし	124,245	1, 0.8
腔がんや 肛門がんなど	65,656	0, 罹患なし	124,245	0, 罹患なし
全てのHPV関連 浸潤がん	65,656	0, 罹患なし	124,245	10, 8.0
乳がん	65,656	2, 3.0	124,245	10, 8.0
甲状腺がん	65,656	1, 1.5	124,245	9, 7.2
悪性黒色腫	65,656	3, 4.6	124,245	13, 10.5
悪性黒色腫 以外の皮膚がん	65,656	2, 3.0	124,245	3, 2.4

男女どちらにも
関わるがん

*罹患率 (/100,000人年)

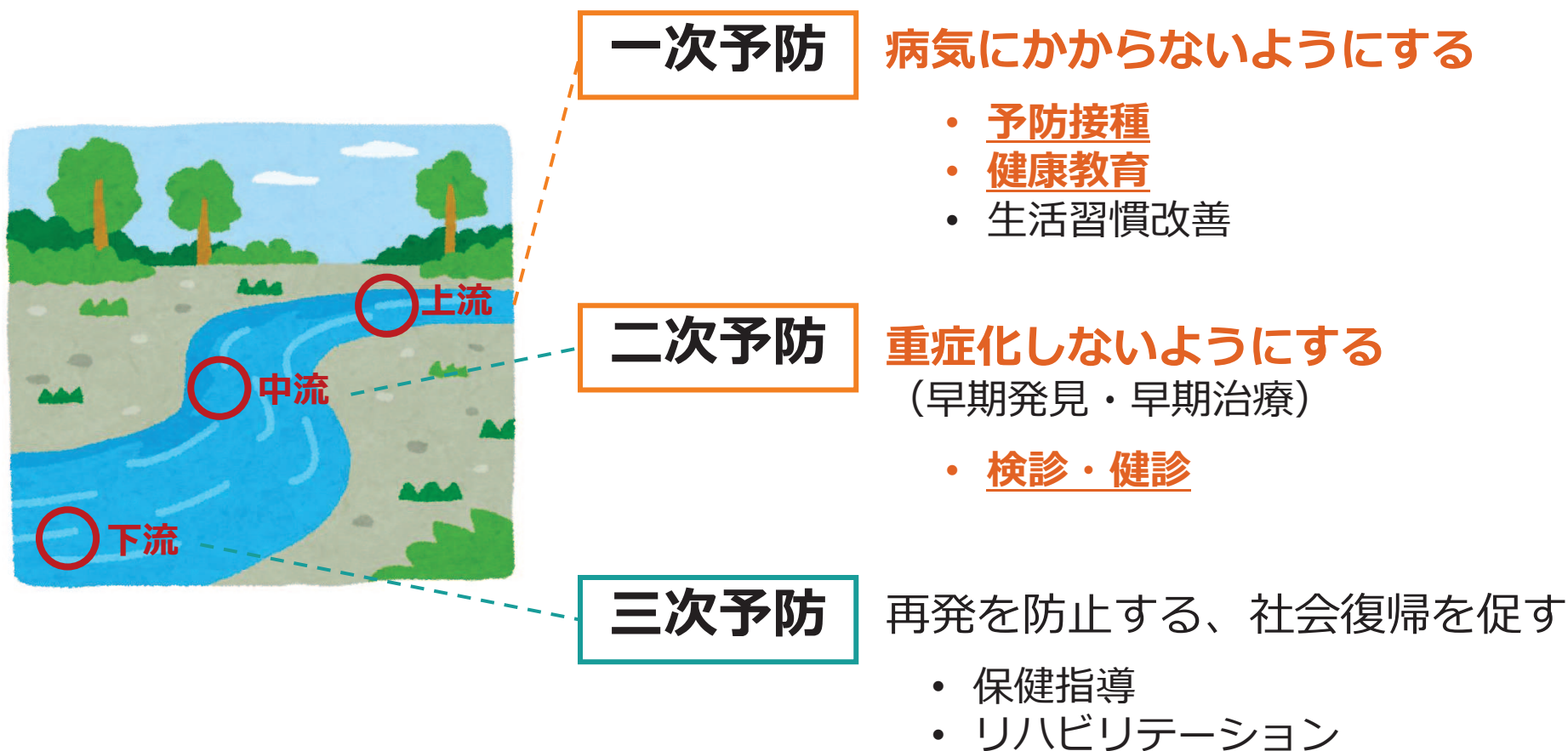
子宮頸がんは2つの行動で予防できる



予防接種は最も効果的な病気への対策



予防接種は、そもそも病気にかからないようにすることで最も根本的に病気を防ぐ「一次予防」



予防接種をおすすめする意味とは？



どんな医療行為にもリスクとベネフィットがある。ベネフィットがリスクを大きく上回る際に正式に推奨される。

子宮頸がんのリスク

女性が子宮頸がんとなる割合^{1) 2)}

132人
/1万人



9割が**子宮摘出など**
身体を傷つける治療が必要

ワクチンの有害事象のリスク

失神を含めた重い症状³⁾

5人
/1万人



9割が**回復**

出典：

1) 第 48 回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会，HPVワクチンの情報提供について（案）

2) 日本産科婦人科学会雑誌，2020;72:676-683.

3) 第15回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会，副反応追跡調査結果について

HPVワクチンは定期予防接種



定期予防接種の対象

小6～高1の女子
は**無料**で接種できます。

- ◆ 小6～高1の女子は無料で接種できます。高1は夏までに1回目を！
- ◆ 15歳未満で9価の1回目を接種する場合は2回(15歳以上は3回)
- ◆ 1997～2008年度生まれの女性は、2024年度まで無料で接種できます。夏までに1回目を！

世界では男性への接種も広がっている



日本でも男性への公費接種が議論されている

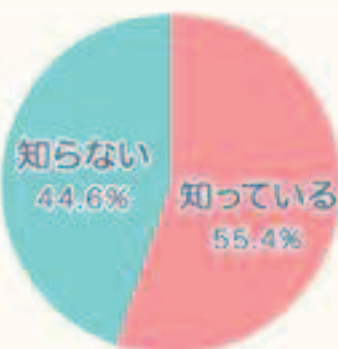


友達にも知らせよう！



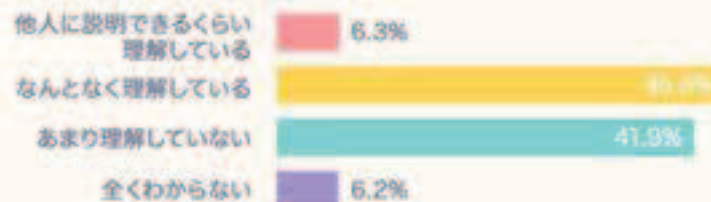
日本の女性の約半数が、子宮頸がんを予防するワクチンがあることを知らない。この現状を変えることが第一歩

Q.「子宮頸がん」の予防として、ヒトパピローマウイルス(HPV)感染を予防するワクチンがあることを知っていますか



ルナルナ調べ (n=3,881)

Q.「子宮頸がん」の予防として、HPVワクチンの接種が推奨される理由についてどのくらい理解していますか



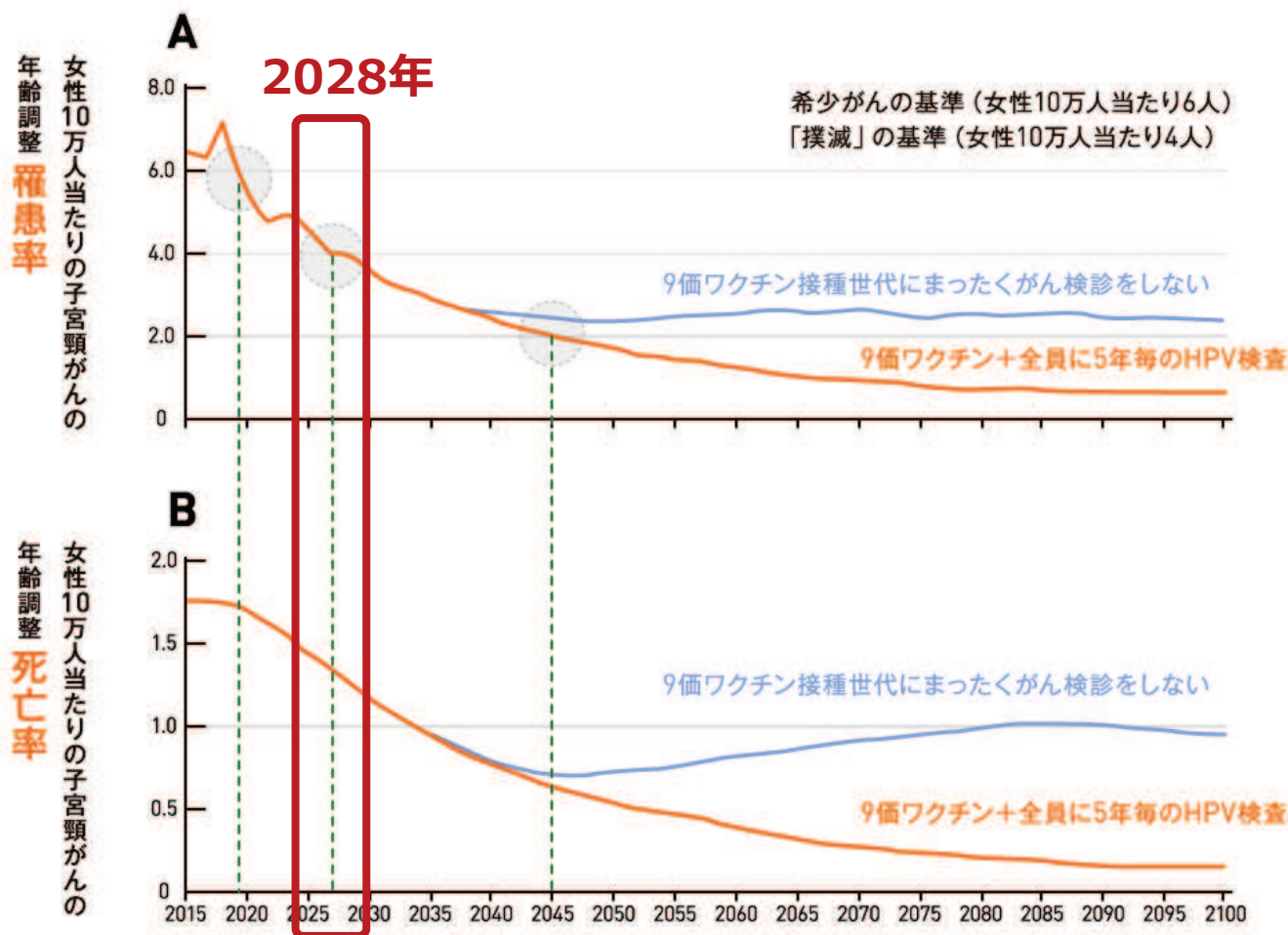
ルナルナ調べ (n=2,144)

10～50代の女性4,194名を対象としたアンケート
(2021年2月実施)

子宮頸がんは人類が初めて克服できるがん



HPVワクチンや子宮頸がん検診が普及したオーストラリアでは、2028年に子宮頸がんが撲滅すると推計される



出典 : YOKOHMA HPV PROJECT Michaela TH, et al. The LANCET 2018

Copyright © 2024 みんなバビ! . All Rights Reserved.

みんなパピちゃんに挑戦！

みんなパピ！フイズ

今日のおさらい

子宮頸がんを発症することが多い年齢
(好発年齢) はどれでしょう？

10代

20～40代

50～70代

70代以上

子宮頸がんにもっともなりやすいのは 20代～40代前半とされています。

がんというと、年をとってからかかる病気、というイメージがあるかも知れません。ところが、子宮頸がんにもっともなりやすいのは20代～40代前半とされています。

若い年代の女性、特に子育て世代がかかることが多いため、別名「マザーキラー」と呼ばれています。

そのような悲しい出来事を少しでも減らせるように、子宮頸がんについて正確な知識を持って予防していただければと思います。

HPVの感染を予防するHPVワクチンを現在無料で接種できるのは？

日本国民全員

小6～高1の男女

小6～高1の女子

小6～26歳の女子

HPVワクチンは、小6～高1の女の子を対象とした定期予防接種です。

定期予防接種は無料で接種できますが、対象年齢を過ぎてしまうと自費（全3回で計9～10万円）になりますので、接種を希望される方は定期予防接種の対象期間を逃さないようにご注意ください。定期接種対象年齢で接種ご希望の方で、自治体から案内が届いていない場合は、自治体へお問い合わせください。

さらに、2025年3月までなら、平成9年度～平成19年度生まれ（26歳）の女性も公費で接種できます

HPVワクチンを接種したら、
子宮頸がん検診を受ける必要はない？
○か×か。



HPVワクチンを接種しても、子宮頸がん検診は必要です。

子宮頸がんの原因となるHPVのうち、4価HPVワクチンでその6-7割の感染を防ぐことができます（9価では9割）。非常に有効な予防手段ですが100%ではありません。そのため

「早期発見」を目的とした定期的な「子宮頸がん検診」と組み合わせることが大切です。日本では「20歳以上の女性は2年に1回の検診」が推奨されています。検診は自治体によっては無料もしくは一部の自己負担のみで受けることが可能です。